

ダイワ・アセアン内需関連株ファンド ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・ マネー・ポートフォリオ

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	ダイワ・アセアン 内需関連株ファンド	追加型投信／海外／株式
	ダイワ・アセアン 内需関連株ファンド・ マネー・ポートフォリオ	追加型投信／国内／債券
信託期間	10年間（2012年2月17日～2022年2月16日）	
運用方針	ダイワ・アセアン 内需関連株ファンド	信託財産の成長をめざして 運用を行ないます。
	ダイワ・アセアン 内需関連株ファンド・ マネー・ポートフォリオ	安定した収益の確保をめざ して安定運用を行ないま す。
主要投資 対 象	ダイワ・アセアン 内需関連株ファンド	イ. アセアン加盟国の金融 商品取引所上場株式およ び店頭登録株式（上場予 定および店頭登録予定を 含みます。） ロ. アセアン加盟国の企業 のDR（預託証券）
	ダイワ・アセアン 内需関連株ファンド・ マネー・ポートフォリオ	イ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受 益証券 ロ. 円建ての債券
組入制限	ダイワ・アセアン 内需関連株ファンド	・株式組入上限比率は無制 限
	ダイワ・アセアン 内需関連株ファンド・ マネー・ポートフォリオ	・マザーファンド組入上限 比率は無制限 ・株式組入上限比率は純資 産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売 買益（評価益を含みます。）等とし、原則とし て、基準価額の水準等を勘案して分配金額を 決定します。ただし、分配対象額が少額の場合 には、分配を行なわないことがあります。	

運用報告書(全体版)

第15期

(決算日 2019年8月16日)

(作成対象期間 2019年2月19日～2019年8月16日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申
上げます。

当ファンドは、(アセアン内需関連株)ア
セアン加盟国の株式に投資し、信託財産の
成長をめざすこと、(マネー・ポートフォリ
オ)円建ての債券に投資し、安定した収益の
確保をめざすことを目的としております。当
作成期につきましてもそれに沿った運用を行
ないました。ここに、運用状況をご報告申し
上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、
お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<4819>
<4820>

ダイワ・アセアン内需関連株ファンド

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC 東南アジア指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
11期末(2017年8月16日)	9,876	0	4.2	16,056	8.2	93.4	—	2.6	4,327
12期末(2018年2月16日)	10,772	250	11.6	17,671	10.1	94.7	—	—	3,796
13期末(2018年8月16日)	9,708	0	△ 9.9	16,377	△ 7.3	91.8	—	—	3,055
14期末(2019年2月18日)	10,055	0	3.6	17,025	4.0	92.9	—	1.5	2,959
15期末(2019年8月16日)	9,518	0	△ 5.3	16,071	△ 5.6	92.1	—	1.9	2,399

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC 東南アジア指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC 東南アジア指数(配当込み、米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCI AC 東南アジア指数(配当込み、米ドルベース)は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

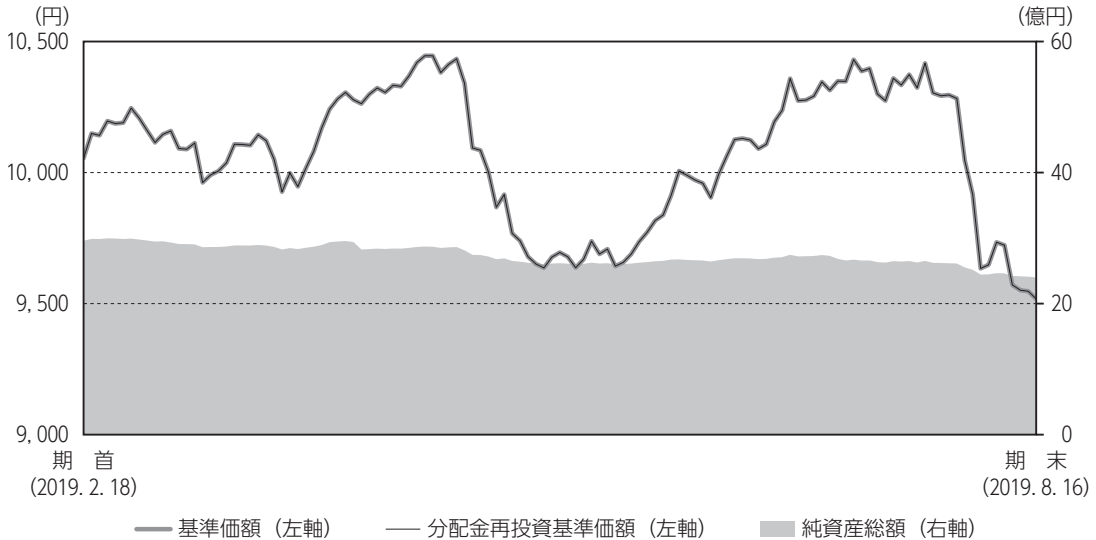
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,055円

期末：9,518円（分配金0円）

騰落率：△5.3%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

アセアンの内需関連企業の株式に投資した結果、基準価額は下落しました。米中対立の激化を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、アセアン株式市況やアセアン通貨の対円為替相場が下落したことがマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・アセアン内需関連株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC 東南アジア指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %			
(期首)2019年2月18日	10,055	—	17,025	—	92.9	—	1.5
2月末	10,161	1.1	17,375	2.1	93.2	—	2.1
3月末	10,016	△ 0.4	17,014	△ 0.1	92.1	—	2.2
4月末	10,341	2.8	17,464	2.6	95.0	—	1.2
5月末	9,643	△ 4.1	16,425	△ 3.5	90.2	—	2.7
6月末	10,194	1.4	17,470	2.6	93.1	—	2.8
7月末	10,296	2.4	17,520	2.9	93.1	—	1.8
(期末)2019年8月16日	9,518	△ 5.3	16,071	△ 5.6	92.1	—	1.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 2. 19 ~ 2019. 8. 16)

■アセアン株式市況

アセアン株式市況は下落しました。

アセアン株式市況は、当作成期首より、米中通商協議の進展に対する期待などを背景に、上昇して始まりました。その後は一時的に弱含む展開となりましたが、2019年4月にかけては、米中通商協議の進展期待や米国株の上昇などを好感して、堅調に推移しました。5月に入ると、米中貿易摩擦の激化などを嫌気して下落しました。5月下旬以降は、大統領の再選確定を受けて投資家心理が改善したインドネシアを中心に買い戻す動きが優勢となったほか、アセアン各国や米国での利下げ観測、米中首脳会談を受けた対中追加関税の先送りや米中通商協議の再開などを背景に、反発しました。当作成期末にかけては、米中対立の激化や中国・人民元安を背景とした投資家のリスク回避姿勢から下落しました。

■為替相場

アセアン通貨は、円に対して下落（円高）しました。

アセアン通貨の対円為替相場は、当作成期首から2019年5月にかけて、投資家のリスク回避姿勢を背景に円高米ドル安が進行したことを主因に、下落基調で推移しました。6月から7月にかけては、米国金利の低下を受けた新興国からの資金流出懸念の後退や、米中通商協議の進展期待などを受けて、対円でおおむね上昇しました。しかし当作成期末にかけては、米中対立の激化懸念を背景に投資家のリスク回避姿勢が再度強まったことから円高が進行し、アセアン通貨も対円で下落する展開となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

アセアン加盟国の株式の中から、アセアン経済圏の内需拡大の恩恵を受けると考えられる企業で、財務内容や株価水準などを勘案し、着実な利益成長が期待できる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、時価総額が大きく、投資家のリスク回避姿勢が後退した際に資金流入が見込まれる銀行を中心とした金融セクターのほか、国内消費回復の恩恵が期待される銘柄を中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。

ポートフォリオについて

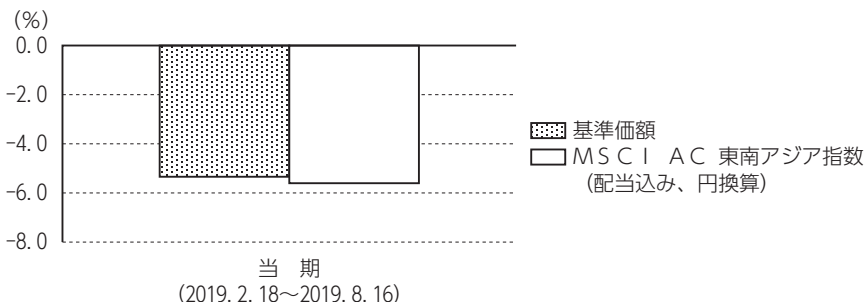
(2019. 2. 19 ~ 2019. 8. 16)

アセアンの内需関連企業の中から、財務内容や株価水準などを勘案し、中長期的に高い利益成長が期待された銘柄に分散投資を行いました。業種では、利ざやの拡大が見込まれたシンガポールや金融緩和を受けた流動性拡大の恩恵が期待されたインドネシアなどの大手銀行を中心に金融セクター、金融緩和による消費者心理の押し上げが期待されたインドネシアや新政府による景気刺激策が見込まれたタイなどの一般消費財・サービスセクターを組入上位としました。個別銘柄では、利ざやの拡大や手数料収入の増加などを背景に業績拡大が期待されたシンガポールの銀行大手 DBS GROUP HOLDINGS LTD (金融)、競争環境の緩和を背景に収益性の改善が見込まれたインドネシアの通信大手 TELEKOMUNIKASI INDONESIA PER (コミュニケーション・サービス)などを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はアセアン市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2019年 2月19日 ～2019年 8月16日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	871

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
 (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
 (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

アセアン加盟国の株式の中から、アセアン経済圏の内需拡大の恩恵を受けると考えられる企業で、財務内容や株価水準などを勘案し、着実な利益成長が期待できる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、金融緩和を受けた流動性拡大の恩恵が期待されるインドネシアやフィリピンの大手銀行を中心とした金融セクターのほか、金融緩和による消費者心理の押し上げが期待されるインドネシアやフィリピン、新政府による景気刺激策の恩恵が見込まれるタイなどの一般消費財・サービスセクターに注目しています。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 2. 19～2019. 8. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	88円	0.874%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,069円です。
(投 信 会 社)	(43)	(0.424)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(43)	(0.424)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0.026)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	41	0.411	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(41)	(0.402)	
(投資信託証券)	(1)	(0.009)	
有 価 証 券 取 引 税	12	0.116	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(12)	(0.115)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
そ の 他 費 用	10	0.102	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(10)	(0.099)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	151	1.503	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

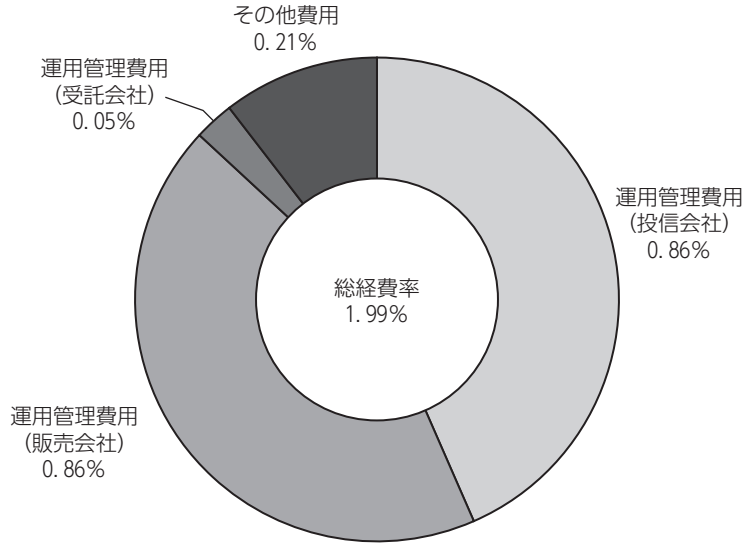
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.99%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ・アセアン内需関連株ファンド

■売買および取引の状況

(1) 株式

(2019年2月19日から2019年8月16日まで)

	買 付		売 付		
	株 数	金 額	株 数	金 額	
外	シンガポール	百株 11,390 ()	千シンガポール・ドル 4,942 ()	百株 18,579	千シンガポール・ドル 7,231
	フィリピン	百株 19,832 123.66	千フィリピン・ペソ 110,815 ()	百株 19,685.1	千フィリピン・ペソ 107,407
	インドネシア	百株 204,550 ()	千インドネシア・ルピア 40,770,164 ()	百株 236,400	千インドネシア・ルピア 64,092,782
	マレーシア	百株 13,280 36.12	千マレーシア・リンギット 8,392 28	百株 6,966.12	千マレーシア・リンギット 5,300
国	タイ	百株 19,683 ()	千タイ・バーツ 111,832 ()	百株 26,661	千タイ・バーツ 135,287
	ベトナム	百株 1,270 153.19	千ベトナム・ドン 7,123,449 ()	百株 1,587.5	千ベトナム・ドン 13,343,245

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2019年2月19日から2019年8月16日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	シンガポール	千口 250 ()	千シンガポール・ドル 634 ()	千口 330 ()	千シンガポール・ドル 676 ()

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年2月19日から2019年8月16日まで)

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	3,572,152千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,558,889千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.39

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株式

(2019年2月19日から2019年8月16日まで)

銘 柄	当 期			期 中			
	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS (シンガポール)	465	119,515	257	UNITED OVERSEAS BANK LTD (シンガポール)	51	106,487	2,087
BANK OF THE PHILIPPINE ISLAND (フィリピン)	395.21	73,536	186	DBS GROUP HOLDINGS LTD (シンガポール)	50	103,045	2,060
BANK RAKYAT INDONESIA PERSER (インドネシア)	1,745.7	59,684	34	OVERSEA-CHINESE BANKING CORP (シンガポール)	100	84,885	848
OVERSEA-CHINESE BANKING CORP (シンガポール)	65.5	58,621	894	KEPPEL CORP LTD (シンガポール)	160	83,034	518
AYALA CORPORATION (フィリピン)	29	58,451	2,015	BANK RAKYAT INDONESIA PERSER (インドネシア)	2,150	65,903	30
SIAM COMMERCIAL BANK-FOREIGN (タイ)	123	56,797	461	CP ALL PCL-FOREIGN (タイ)	234	63,175	269
COMFORTDELGRO CORP LTD (シンガポール)	280	55,349	197	INDOFOOD CBP SUKSES MAKMUR T (インドネシア)	760.6	58,786	77
TISCO FINANCIAL-FOREIGN (タイ)	146	47,727	326	PTT PCL/FOREIGN (タイ)	350	57,679	164
PTT PCL/FOREIGN (タイ)	253	43,311	171	AIRPORTS OF THAILAND PCL-FOR (タイ)	220	50,407	229
ASTRA INTERNATIONAL TBK PT (インドネシア)	750	42,914	57	THAI BEVERAGE PCL (タイ)	720	48,280	67

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	株数	当 株数	期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
		百株	百株	千シンガポール・ドル	千円	
(シンガポール)						
UNITED OVERSEAS BANK LTD	1,080	570	1,433	109,580	金融	
DBS GROUP HOLDINGS LTD	1,108.34	653.34	1,613	123,355	金融	
KEPPEL CORP LTD	900	—	—	—	資本財・サービス	
UOL GROUP LTD	—	450	328	25,110	不動産	
CITY DEVELOPMENTS LTD	700	270	245	18,740	不動産	
SINGAPORE PRESS HOLDINGS LTD	2,700	2,700	556	42,515	コミュニケーション・サービス	
THAI BEVERAGE PCL	15,500	8,300	751	57,417	生活必需品	
OVERSEA-CHINESE BANKING CORP	1,000	655	700	53,572	金融	
HRNETGROUP LTD	5,249	—	—	—	資本財・サービス	
SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS	—	4,650	1,501	114,809	コミュニケーション・サービス	
COMFORTDELGRO CORP LTD	—	2,800	708	54,150	資本財・サービス	
シンガポール・ドル通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	28,237.34 8銘柄	21,048.34 9銘柄	7,839	599,252 <25.0%>	
		百株	百株	千フィリピン・ペソ	千円	
(フィリピン)						
AYALA LAND INC	6,500	4,970	24,278	49,042	不動産	
METROPOLITAN BANK & TRUST	1,200	2,305.9	16,141	32,605	金融	
SM PRIME HOLDINGS INC	8,500	2,800	9,660	19,513	不動産	
BANK OF THE PHILIPPINE ISLAN	—	2,050	18,450	37,269	金融	
AYALA CORPORATION	—	140	13,076	26,413	資本財・サービス	
JOLLIBEE FOODS CORP	400	—	—	—	一般消費財・サービス	
BDO UNIBANK INC	2,411.4	1,911.4	27,715	55,984	金融	
ROBINSONS LAND CO	6,423	6,423	15,511	31,333	不動産	
ABOITIZ POWER CORP	—	3,000	10,380	20,967	公益事業	
SECURITY BANK CORP	—	300	5,679	11,471	金融	
PUREGOLD PRICE CLUB INC	2,712	2,712	12,393	25,035	生活必需品	
GT CAPITAL HOLDINGS INC	170	—	—	—	資本財・サービス	
WILCON DEPOT INC	8,000	8,951	14,053	28,387	一般消費財・サービス	
PHILIPPINE NATIONAL BANK	—	900	4,212	8,508	金融	
ALTUS SAN NICOLAS CORP	—	123.66	64	129	その他	
フィリピン・ペソ通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	36,316.4 9銘柄	36,586.96 13銘柄	171,614	346,661 <14.4%>	
		百株	百株	千インドネシア・ルピア	千円	
(インドネシア)						
INDOCEMENT TUNGGAL PRAKARSA	2,500	600	1,312,500	9,843	素材	
UNITED TRACTORS TBK PT	—	1,000	2,075,000	15,562	エネルギー	
ASTRA INTERNATIONAL TBK PT	9,000	8,700	5,676,750	42,575	一般消費財・サービス	
GUDANG GARAM TBK PT	1,000	600	4,429,500	33,221	生活必需品	
SEMEN INDONESIA PERSERO TBK	5,426	2,026	2,623,670	19,677	素材	
JAPFA COMFEED INDONES-TBK PT	20,000	—	—	—	生活必需品	
MAYORA INDAH PT	7,888	2,000	494,000	3,705	生活必需品	
INDOFOOD SUKSES MAKMUR TBK P	2,500	—	—	—	生活必需品	
BANK TABUNGAN PENSIUNAN NASI	—	18,086	5,715,176	42,863	金融	
TELEKOMUNIKASI INDONESIA PER	16,200	20,000	8,580,000	64,350	コミュニケーション・サービス	
ACE HARDWARE INDONESIA	11,177	13,235	2,296,272	17,222	一般消費財・サービス	
RAMAYANA LESTARI SENTOSA TBK	21,759	28,759	3,753,049	28,147	一般消費財・サービス	
INDOFOOD CBP SUKSES MAKMUR T	7,606	—	—	—	生活必需品	
BANK CENTRAL ASIA TBK PT	6,000	4,940	14,820,000	111,150	金融	
BANK RAKYAT INDONESIA PERSER	27,500	23,457	9,969,225	74,769	金融	
MITRA ADIPERKASA TBK PT	28,866	43,436	4,408,754	33,065	一般消費財・サービス	
BANK TABUNGAN NEGARA PERSERO	—	7,700	1,747,900	13,109	金融	

ダイワ・アセアン内需関連株ファンド

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
SURYA CITRA MEDIA PT TBK ERAJAYA SWASEMBADA TBK PT	百株 28,967 10,000	百株 — —	千インドネシア・ルピア — —	千円 — —	コミュニケーション・サービス 情報技術	
インドネシア・ルピア通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	206,389 16銘柄	174,539 14銘柄	67,901,797 <21.2%>	509,263	
(マレーシア)		百株	百株	千マレーシア・リンギット	千円	
MALAYAN BANKING BHD	1,700	—	—	—	—	金融
SERBA DINAMIK HOLDINGS BHD	—	1,850	767	19,439	—	エネルギー
TENAGA NASIONAL BHD	—	1,150	1,577	39,949	—	公益事業
BURSA MALAYSIA BHD	1,500	1,500	946	23,965	—	金融
SYARIKAT TAKAFUL MALAYSIA KE	—	1,540	928	23,512	—	金融
RHB BANK BHD	—	2,500	1,380	34,941	—	金融
BRITISH AMERICAN TOBACCO BHD	512	292	661	16,738	—	生活必需品
YINSON HOLDINGS BHD	—	1,230	822	20,835	—	エネルギー
マレーシア・リンギット通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	3,712 3銘柄	10,062 7銘柄	7,084	179,382 <7.5%>	
(タイ)		百株	百株	千タイ・バーツ	千円	
MUANGTHAI CAPITAL PCL-FOREIG	3,000	750	3,918	13,480	—	金融
ERAWAN GROUP PCL/THE-FOREIGN	10,000	10,000	5,450	18,748	—	一般消費財・サービス
CENTRAL PLAZA HOTEL PCL-FRGN	1,000	—	—	—	—	一般消費財・サービス
LAND & HOUSES PUB CO-FOR REG	—	3,800	4,028	13,856	—	不動産
SIAM COMMERCIAL BANK-FOREIGN	—	790	9,519	32,747	—	金融
TISCO FINANCIAL-FOREIGN	—	1,460	14,308	49,219	—	金融
COM7 PCL-F	—	3,200	8,160	28,070	—	一般消費財・サービス
HOME PRODUCT CENTER PCL-FOR	10,000	1,900	3,192	10,980	—	一般消費財・サービス
ROBINSON PCL-FOREIGN	2,100	750	4,668	16,060	—	一般消費財・サービス
AEON THANA SINSAP THA-FOREIG	—	620	13,330	45,855	—	金融
PTT PCL/FOREIGN	4,400	3,430	14,491	49,851	—	エネルギー
CP ALL PCL-FOREIGN	4,450	2,110	17,407	59,881	—	生活必需品
AIRPORTS OF THAILAND PCL-FOR	2,200	1,730	12,023	41,360	—	資本財・サービス
CENTRAL PATTANA PUB CO-FOREI	500	—	—	—	—	不動産
CENTRAL PATTANA PCL-NVDR	816	—	—	—	—	不動産
BANGKOK BANK PUBLIC CO-NVDR	1,000	560	9,352	32,170	—	金融
INTOUCH HOLDINGS PCL-NVDR	—	1,513	9,267	31,878	—	コミュニケーション・サービス
タイ・バーツ通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	39,466 11銘柄	32,613 14銘柄	129,116	444,162 <18.5%>	
(ベトナム)		百株	百株	千ベトナム・ドン	千円	
TASECO AIR SERVICES JSC	283.9	124.25	820,050	3,772	—	一般消費財・サービス
VIETNAM ENGINE & AGRICULTURA	1,510	2,520	13,280,400	61,089	—	その他
VIETTEL POST JSC	373	438.34	6,198,127	28,511	—	その他
VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC	750.06	370.06	4,514,732	20,767	—	生活必需品
BANK FOR FOREIGN TRADE JSC	1,200	500	3,950,000	18,170	—	金融
ベトナム・ドン通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	4,116.96 5銘柄	3,952.65 5銘柄	28,763,309	132,311 <5.5%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	318,237.7 52銘柄	278,801.95 62銘柄	—	2,211,033 <92.1%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首	当期		期末
	口数	口数	評価額	
	千口	千口	外貨建金額 千シンガポール・ドル	邦貨換算金額 千円
(シンガポール) CAPITALAND COMMERCIAL TRUST ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	300 —	70 150	144 462	11,076 35,315
合計	300 銘柄数 < 比率 >	220 2銘柄	606	46,391 <1.9% >

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年8月16日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	2,211,033 千円	90.1 %
投資信託証券	46,391	1.9
コール・ローン等、その他	197,480	8.0
投資信託財産総額	2,454,905	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=106.15円、1シンガポール・ドル=76.44円、1フィリピン・ペソ=2.02円、100インドネシア・ルピア=0.75円、1マレーシア・リンギット=25.32円、1タイ・バーツ=3.44円、100ベトナム・ドン=0.46円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(2,384,106千円)の投資信託財産総額(2,454,905千円)に対する比率は、97.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年8月16日現在

項目	当期末
(A) 資産	2,454,905,513円
コール・ローン等	169,118,518
株式(評価額)	2,211,033,421
投資信託証券(評価額)	46,391,436
未収入金	18,833,092
未収配当金	9,529,046
(B) 負債	55,054,285
未払金	22,144,746
未払解約金	8,865,450
未払信託報酬	23,971,529
その他未払費用	72,560
(C) 純資産総額(A-B)	2,399,851,228
元本	2,521,421,946
次期繰越損益金	△ 121,570,718
(D) 受益権総口数	2,521,421,946口
1万口当り基準価額(C/D)	9,518円

* 期首における元本額は2,943,848,058円、当作成期間中における追加設定元本額は39,966,075円、同解約元本額は462,392,187円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,518円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は121,570,718円です。

■損益の状況

当期 自 2019年2月19日 至 2019年8月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	47,539,071円
受取配当金	46,961,063
受取利息	589,042
支払利息	△ 11,034
(B) 有価証券売買損益	△ 156,514,856
売買益	146,378,606
売買損	△ 302,893,462
(C) 先物取引等損益	58
取引益	50
取引損	8
(D) 信託報酬等	△ 26,768,183
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	△ 135,743,910
(F) 前期繰越損益金	△ 96,809,497
(G) 追加信託差損益金	110,982,689
(配当等相当額)	(88,289,889)
(売買損益相当額)	(22,692,800)
(H) 合計 (E + F + G)	△ 121,570,718
次期繰越損益金 (H)	△ 121,570,718
追加信託差損益金	110,982,689
(配当等相当額)	(88,289,889)
(売買損益相当額)	(22,692,800)
分配準備積立金	131,490,286
繰越損益金	△ 364,043,693

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：6,449,633円(未監査)

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	20,770,888円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	88,289,889
(d) 分配準備積立金	110,719,398
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	219,780,175
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	219,780,175
(h) 受益権総口数	2,521,421,946口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 分 配 金		期 騰 落 率 %	公 社 債 組入比率 %	純 資 産 総 額 百万円
		円	円			
11期末(2017年 8月16日)	9,999	0	△ 0.0	—	124	
12期末(2018年 2月16日)	9,996	0	△ 0.0	—	166	
13期末(2018年 8月16日)	9,992	0	△ 0.0	—	183	
14期末(2019年 2月18日)	9,987	0	△ 0.1	—	152	
15期末(2019年 8月16日)	9,982	0	△ 0.1	—	9	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

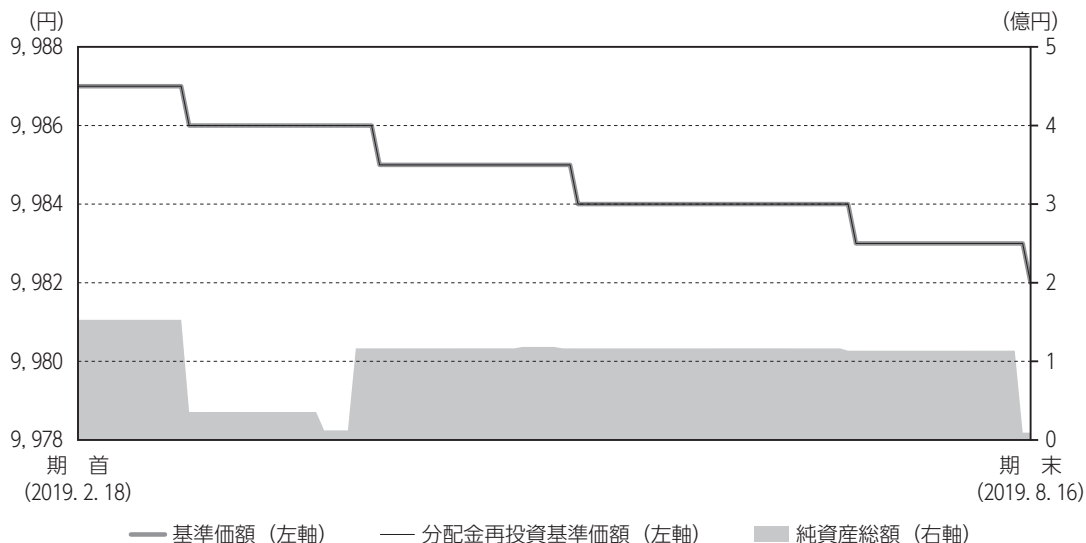
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ダイワ・アセアン内需関連株ファンドの資金をスイッチングにより一時滞留させる受け皿としての役割をもったファンドであり、円建ての債券を中心に、安定運用を行います。そのため、ベンチマークおよび参考指数はありません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,987円

期末：9,982円（分配金0円）

騰落率：△0.1%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の受益証券を通じて投資したコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		公社債組入比率
		騰 落 率	騰 落 率	
	円		%	%
(期首)2019年2月18日	9,987	—	—	—
2月末	9,987	0.0	—	—
3月末	9,986	△	0.0	—
4月末	9,985	△	0.0	—
5月末	9,984	△	0.0	—
6月末	9,984	△	0.0	—
7月末	9,983	△	0.0	—
(期末)2019年8月16日	9,982	△	0.1	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 2. 19 ~ 2019. 8. 16)

国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性及び資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 2. 19 ~ 2019. 8. 16)

当ファンド

「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性及び資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年 2月19日 ～2019年 8月16日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	4

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

今後も現在の低金利環境が継続した場合は、ファンド全体の損益がマイナスとなり、基準価額が下落することが予想されます。投資家のみなさまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 2. 19～2019. 8. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	—円	—%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,985円です。
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.007	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(1)	(0.007)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	1	0.007	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

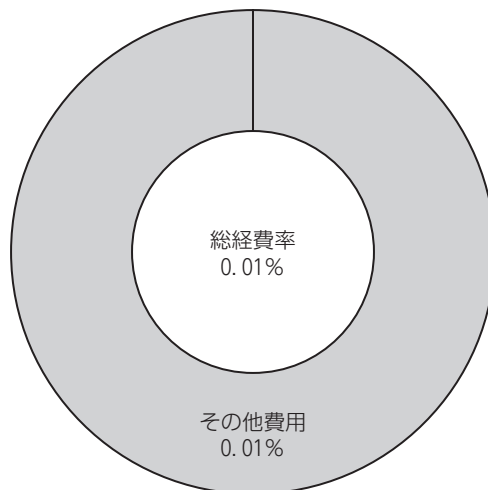
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.01%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年2月19日から2019年8月16日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー ストック・ マザーファンド	105,581	105,792	248,136	248,600

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2019年2月19日から2019年8月16日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	250	250	100.0	—	—	—
コール・ローン	8,615,044	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド	151,773	9,218	9,234

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年8月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド	9,234	8.1
コール・ローン等、その他	104,327	91.9
投資信託財産総額	113,562	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年8月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	113,562,219円
コール・ローン等	104,327,778
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド (評価額)	9,234,441
(B) 負債	104,281,470
未払解約金	104,281,273
その他未払費用	197
(C) 純資産総額 (A - B)	9,280,749
元本	9,297,029
次期繰越損益金	△ 16,280
(D) 受益権総口数	9,297,029口
1万口当り基準価額 (C / D)	9,982円

* 期首における元本額は153,043,260円、当作成期間中における追加設定元本額は106,438,983円、同解約元本額は250,185,214円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,982円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は16,280円です。

■損益の状況

当期 自 2019年2月19日 至 2019年8月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 150円
受取利息	1,163
支払利息	△ 1,313
(B) 有価証券売買損益	△ 2,958
売買益	28,844
売買損	△ 31,802
(C) 信託報酬等	△ 219
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	△ 3,327
(E) 前期繰越損益金	△ 925
(F) 追加信託差損益金	△ 12,028
(配当等相当額)	(4,060)
(売買損益相当額)	(△ 16,088)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 16,280
次期繰越損益金 (G)	△ 16,280
追加信託差損益金	△ 12,028
(配当等相当額)	(4,060)
(売買損益相当額)	(△ 16,088)
分配準備積立金	7
繰越損益金	△ 4,259

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	4,060
(d) 分配準備積立金	7
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	4,067
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	4,067
(h) 受益権総口数	9,297,029口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2019年8月16日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を23ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

公 社 債

(2019年2月19日から2019年8月16日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
801 国庫短期証券 2019/3/18	千円 250,003		千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2019年8月16日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第9期（決算日 2018年12月10日）

（作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

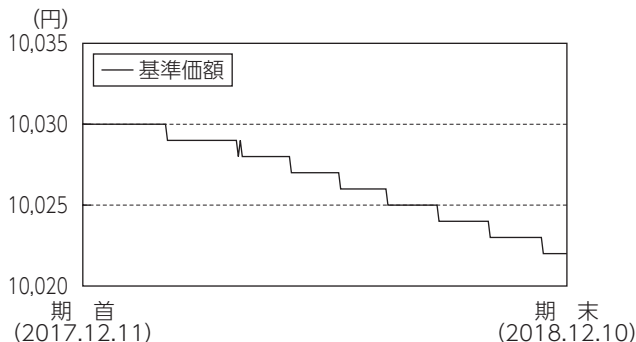
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2017年12月11日	円	%	%
	10,030	-	-
12月末	10,030	0.0	-
2018年1月末	10,030	0.0	-
2月末	10,029	△0.0	0.5
3月末	10,029	△0.0	-
4月末	10,028	△0.0	-
5月末	10,027	△0.0	-
6月末	10,026	△0.0	-
7月末	10,025	△0.0	-
8月末	10,025	△0.0	-
9月末	10,024	△0.1	-
10月末	10,023	△0.1	-
11月末	10,022	△0.1	-
(期末)2018年12月10日	10,022	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,030円 期末：10,022円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性及資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	4 (4)
合 計	4

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	570,003	(570,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		当 期			
		買 付		売 付	
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
723	国庫短期証券 2018/3/5	220,001			
757	国庫短期証券 2018/8/13	200,001			
731	国庫短期証券 2018/7/10	150,000			

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) 単位未満は四捨五入してあります。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	41,081,960	100.0
投資信託財産総額	41,081,960	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項目	当 期 末
(A) 資産	41,081,960,031円
コール・ローン等	41,081,960,031
(B) 負債	22,652,366
未払解約金	20,000,000
その他未払費用	2,652,366
(C) 純資産総額(A - B)	41,059,307,665
元本	40,969,233,796
次期繰越損益金	90,073,869
(D) 受益権総口数	40,969,233,796口
1万口当り基準価額(C/D)	10,022円

* 期首における元本額は30,015,878,475円、当作成期間中における追加設定元本額は79,229,641,363円、同解約元本額は68,276,286,042円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジあり) 3,021,993円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジなし) 1,018,149円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジ-関連株ファンド -ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレニアセット・インド株ファンド-インドの匠-29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、US短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、US短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,994円、ロボット・テクノロジ-関連株ファンド -ロボテック- (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジ-関連株ファンド(年1回決算型) -ロボテック(年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレバレッジ S & P 500 9,976,058円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス6,480,317,774円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス3,588,745,910円、ダイワ上場投信-TOP I Xレバレッジ(2倍) 指数1,873,252,277円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインバース(-2倍) 指数602,505,046円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス3,957,907,355円、ダイワ上場投信-TOP I Xインバース(-1倍) 指数3,685,167,742円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス323,527,433円、ダイワ上場投信-J P X日経400インバース・インデックス2,008,932,965円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインバース・インデックス208,181,200円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ日本株式ベア・ファン

ド(適格機関投資家専用) 3,619,070,901円、低リスク型アロケーションファンド(金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 199,401,795円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ -S Lトレード- 56,086,003円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の権音(つちおと)- 5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ168,192,739円、ダイワ・アセア内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ151,817,656円、低リスク型アロケーションファンド(適格機関投資家専用) 13,958,125,625円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース(毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 494,581円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレニアセット亜細亜株式ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジ-関連株ファンド(年1回決算型) -ロボテック(年1回) - 100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレニアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) -ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,022円です。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項	目	当	期
(A)	配当等収益	△	21,014,406円
	受取利息		30,196
	支払利息	△	21,044,602
(B)	有価証券売買損益	△	2
	売買損	△	2
(C)	その他費用	△	16,468,861
(D)	当期損益金(A + B + C)	△	37,483,269
(E)	前期繰越損益金		91,400,424
(F)	解約差損益金	△	184,462,233
(G)	追加信託差損益金		220,618,947
(H)	合計(D + E + F + G)		90,073,869
	次期繰越損益金(H)		90,073,869

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。